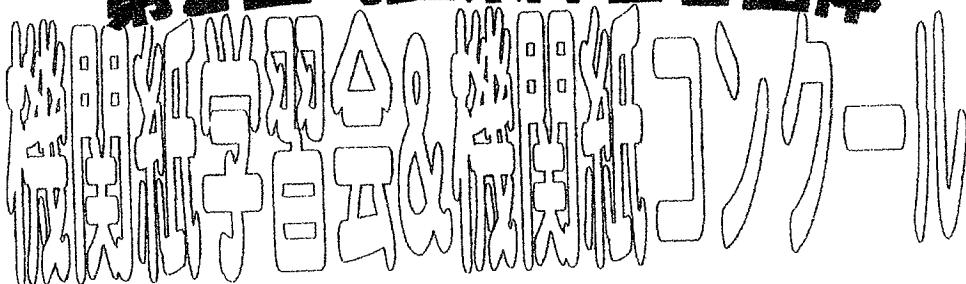


第2回埼玉県障害者団体



主催

障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会（障埼連）

〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1 埼玉県障害者交流センター内

TEL&FAX 048-833-7027 E-mail syousairenssc@hop.ocn.ne.jp

協力

NPO法人 埼玉県障害者協議会 / NPO法人 埼玉障害者センター

機関紙づくりの実際＆低料第3種問題



あなたの団体では、どんな機関紙を作っていますか？どんな課題を抱えていますか？普段、新聞を見たり、ニュースを聞いていてどんなことを感じていますか？私たちの会報やニュースも一つ一つがミニコミ紙です。したがって課題も同じです。そんな機関紙活動の基本をおさえ、これから機関紙づくりを始めるところも、今の水準を引き上げたいと思っているところも、どんな新聞づくりが求められているのか、新聞やチラシづくりの専門家を講師にお招きし、大いに語ってもらい、疑問点などに答えてもらうなど交流します。ぜひ！ご参加ください。

参加費無料

日 時 2017 (H29) 年 2月 12 日 (日)

受付 12:00～(13:00～16:00)
会 場 埼玉県障害者交流センター ホール

●講 演 「機関紙づくりのイロハから、果たす役割！

そしてマスコミ問題を解る」

*日頃の機関紙活動で困っていることや、質問等にもお答えします。

講師 高橋 謙彦 氏 (日本機関紙協会埼玉県本部事務局長)

●報 告 「低料第3種郵便や第4種郵便の動向について」

園松 公造(SSC担当者)

☆手話通訳が必要な方は、2月8日までにご連絡ください。

- ⑥主催
・NPO法人 埼玉県障害者協議会（リーダー研修会）
・NPO法人埼玉障害者センター・障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会

問合せ・申込先

障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会(障埼連)

Tel&Fax: 048-833-7027 Eメール:syousairenssc@hop.ocn.ne.jp

第2回障害者機関紙づくりコンクール

記念講演と総評・表彰 機関紙づくり交流会

とき 3月4日(土) 受付12時半～(13:30～16:30)

ところ 埼玉県障害者交流センター ホール

参加費無料

記念講演 差別解消法がぶつ飛んだ…

津久井やまゆり園事件の真実を追いかながら考えたこと

講師 小宮 純一氏 (フリーライター・元埼玉新聞記者)

応募機関紙の評価について 高橋勝彦氏 (埼玉機関紙協会事務局長)

- ・開会あいさつ
- ・記念講演 講師 小宮純一氏 (フリーライター)
(仮) 「津久井やまゆり園事件を追いかながら考えたこと」
- ・表彰状授与式 各賞
- ・受賞団体コメント
- ・審査経過と総評 高橋勝彦氏 (埼玉機関紙協会事務局長)
- ・参加団体交流
- ・閉会あいさつ

※手話通訳が必要な方は3月1日までにご連絡ください。

問合せ・申込先

障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会(障埼連)

Tel&Fax: 048-833-7027 Eメール:syousairenssc@hop.ocn.ne.jp

第2回埼玉県障害者団体機関紙

コンクールに取り組みます！

機関紙アンケート・学習会・機関紙コンクールのご協力とご参加を！

参加費無料

障害者団体の情報保障として発行するささやかなニュースも一つのミニコミ紙です。ところが、最近は真実を伝えなくてはいけないNHKなど大手マスコミの体たらくは目を覆いたくなるような状況です。

したがって、各分野のミニコミ紙の齋藤で、障害者の生活実態を通して、社会保障・障害者福祉の充実や、共生社会をめざしていくことと、乖離するマスメディアの姿勢を正していくことが、一つのこととして求められています。

さて、齋藤連は、今年度も組織を超えて多くの団体にさて、今年多くの団体に呼びかけ、機関紙活動の発展のため、機関紙アンケートはじめ機関紙学習会や第2回機関紙コンクールの開催を、埼玉県障害者協議会や埼玉障害者センター等のお力添えをいただき、取り組んでまいります。

機関紙アンケートについては、現在機関紙を発行していない団体についても、過去に機関紙を発行したことの有無や、第3種郵便や低料第3種の内容に踏み込んでお尋ねしていますので、ぜひ、ご協力をお願いします。

現機関紙発行といつても、普通郵便（第1種郵便）で発行していたり、第3種郵便で発行していたり、ゆうメールやクロネコDM便等を使って発行しているたり、様々な方法で活動しているかと思います。また、発行の頻度にも月刊・季刊・隔月刊等々、団体ごとに様々だと思います。

機関紙学習会は、今後の機関紙活動に大変役に立つ内容となっていますし、機関紙コンクールへの応募は、専門家から評価は今後の活動の励みにもなります。

昨年度は、第1回ということで59紙が参加し、初めて機関紙コンクールを開催しました。その中で、機関紙の意味や実践について専門家を招き学習・交流をしました。

大事なことは、社会への障害者団体からの、アピールをもっと徹底していくことが共生社会にとって決定的です。どうぞ、奮ってご参加をお願いします。

主催：障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会（齋藤連）

〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1 埼玉県障害者交流センター内
TEL&FAX 048-833-7027 Eメール syouseirenssc@hop.ocn.ne.jp